

新型コロナ対策の転換と ワクチン問題の本質を問う

2020年3月11日のWHOによる、「パンデミック」宣言以来、日本を含む世界中で新型コロナ対策として行なわれてきたマスク着用とソーシャル・ディスタンス（社会的距離）の確保、一部地域での都市封鎖や外出自粛・規制、PCR検査の実施、ワクチン接種の「事実上の強制」などを見直す動きが生まれています。こうした変化の背景には、新型コロナ対策の影響として経済状況の急速な悪化、格差拡大と貧困の深刻化などの経済的要因があるばかりでなく、新型コロナワクチンによる健康被害（死亡者数の急速な増加と深刻なワクチン後遺症の表面化）といった背景があることは明らかです。

そこで、今回の公開シンポジウムでは、これまでの新型コロナ対策を総括するとともに、ワクチンの健康被害の実態と原因を明らかにし、ワクチン後遺症への対策と被害者救済に向けた具体的方策を考える機会にしたいと考えています。一人でも多くの皆さん方のご参加を心からお待ちしております。

ISF独立言論フォーラム編集長 木村 朗



登壇者

井上正康（大阪市立大学〔現大阪公立大学〕医学部名誉教授）

奥野卓志（「ごぼうの党」代表）

高橋 徳（「新型コロナワクチンに警鐘を鳴らす医師と議員の会」代表世話人）

阿部知子（衆議院議員「ワクチン接種とワクチン後遺症を考える超党派議員連盟」所属）

小林千穂（「コロナワクチン被害者駆け込み寺」）

3月26日(日) 14時

(13時半開場・17時半終了)

資料代：1,000円（会員・サポーターは半額）＊当日受付にてお支払い下さい

会場：全国家電会館（東京都文京区湯島3-6-1）

アクセス→ <https://www.jeass.or.jp/map.htm>（地図ご参照）

申込み：参加ご希望の方は、ISF独立言論フォーラムまで事前申込をお願いいたします。

申込フォーム： <https://isfweb.org/symposium/>

メールでも受付いたします。

お名前、3月26日シンポジウムと明記の上、info@isfweb.org までお願い致します。



銀座線末広町駅 徒歩7分 千代田線湯島駅 徒歩5分
JRお茶の水駅 徒歩10分

主催：ISF独立言論フォーラム

【東京】東京都文京区湯島3-6-1 全国家電会館2F（〒113-0034）TEL 03-4580-9988 FAX 03-6856-9696

【沖縄】沖縄那覇市字小祿61-1 ルーチェカルダ403（〒901-0152）

一般社団法人独立言論フォーラム本部 東京都港区北青山2-14-4 アーガイル青山14F（〒107-0061）

info@isfweb.org